

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動学Ⅱ (理学療法学科中心)		必修 (理) 選択 (福)	2	1 (理) 1.2 (福)	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
遠藤 悠介	D320	y.endo		水曜日 10:40~12:10	
授業の目的・概要	運動学は、ヒトの身体運動の仕組みに関わる学問である。本講義では、筋骨格系の構造と機能との関係や身体に加わる力との関わりなど、身体運動に関する諸問題について、解剖学、生理学、力学的観点から理解することを目的とする。本授業は、同時双方向型授遠隔授業により実施し、質疑応答ならびにフィードバック等についても Microsoft Teams を使用して行う。				
学習上の助言	前期で学習した解剖学実習について身体の骨格や筋を中心に復習をして受講することが望ましい。				
教科書	基礎運動学 第6版補訂 / 著：中村隆一 他 / 医歯薬出版 / 2012				
参考書	身体運動学 関節の制御機能と筋機能 / 編：市橋則明 / MEDICAL VIEW / 2017				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	身体運動を包括的に理解するために必要な運動学及び運動力学について説明できる。			PT(1)、(5)	
②	身体の各関節における筋骨格系の構造と機能について理解し、説明できる。			PT(1)、(5)	
③	正常な姿勢及び歩行について理解し、説明できる。			PT(1)、(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	生体力学の概要について学習する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 19-46 ページ該当)を復習する。	4	
2	運動器の構造と機能について学習する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 67-88 ページ該当)を復習する。	4	
3	上肢帯と肩関節の運動について学習する。担当教員が実務経験の中で経験した症例の紹介を交えて解説する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 214-224 ページ該当)を復習する。	4	
4	肘関節の運動について学習する。担当教員が実務経験の中で経験した症例の紹介を交えて解説する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 224-228 ページ該当)を復習する。	4	
5	手関節と手指の運動について学習する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 229-245 ページ該当)を復習する。	4	
6	股関節の運動について学習する。担当教員が実務経験の中で経験した症例の紹介を交えて解説する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 246-256 ページ該当)を復習する。	4	
7	膝関節の運動について学習する。担当教員が実務経験の中で経験した症例の紹介を交えて解説する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 256-260 ページ該当)を復習する。	4	
8	足関節と足部の運動について学習する。担当教員が実務経験の中で経験した症例の紹介を交えて解説する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 260-271 ページ該当)を復習する。	4	
9	頸椎の運動について学習する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 271-283 ページ該当)を復習する。	4	
10	胸腰椎の運動 (呼吸運動を含む) について学習する。担当教員が実務経験の中で経験した症例の紹介を交えて解説する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 283-292 ページ該当)を復習する。	4	
11	頭部と顔面の運動について学習する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 293-296 ページ該当)を復習する。	4	
12	重心と姿勢について学習する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 347-377 ページ該当)を復習する。	4	
13	歩行の力学的、運動学的要素について学習する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 379-401 ページ該当)を復習する。	4	
14	歩行の筋活動について学習する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 379-401 ページ該当)を復習する。	4	
15	正常歩行と異常歩行について学習する。	同時双方向型授業	講義内容(教科書 379-401 ページ該当)を復習する。	4	
試	定期試験：達成度評価・評価のポイント参照				

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

		達成度評価						
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
		評価のポイント					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	授業講義内容に関する定期試験を実施し、達成度評価を行う。					試験結果の返却または開示
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
備 考								
<p>担当教員：◎遠藤悠介</p> <p>事前事後学習内容の教科書該当ページについては、その範囲内の講義で扱った内容を学習するという意味であり、全てのページの内容を学習するというわけではない。</p> <p>教員の実務経験： 病院、介護保健施設、大学等で7年勤務</p> <p>実践的授業の内容： 実務経験のある教員が経験した症例を一部紹介し、運動学の臨床的意義について検討する。</p> <p>感染対策： 本授業では大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を厳守する。</p> <p>遠隔授業： Teams (Microsoft 社) を用いた同時双方向型授業を実施する。本授業は通信容量が無制限のインターネット回線の使用を強く推奨する。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、シラバス変更の可能性のあることに留意してほしい。</p>								